

秘密の部屋

作・中野 守 (中野劇団)

登場人物

女

後輩

後輩(声) こんにちは。先輩？ いますか？ 何か最近先輩がサークルに顔出さへんから見て来いって言われたんですが。入っていいですか？ 入りますよ？ おじゃまします。

凄く汚い部屋。ペットボトル、雑誌、新聞紙、コンビニの袋、カップラーメンの食べ跡やら下着やらが床に散乱している。啞然とする後輩。女、毛布にくるまって眠っている。

後輩 ……何これ。…先輩？ 先輩？

後輩、女を揺すり起こす。女最初は手で振り払う。後輩がしつこく起こし、微睡みながら目を覚ます。後輩に気づき、さっと距離を開ける女。青い服を着ている。

後輩 先輩、これは…。

女 私の秘密の部屋。みんなには内緒。怖がるといけないから。

後輩 …え？ 何ですか？ …ええ？

部屋を見回す後輩。足下が不安定。

後輩 どうしたんですか、先輩。部屋凄いいことになってますやん。

女 いいえ。父はまだまだだつて。

後輩 …何がですか？ これ、ちょーっと、散らかってるとかってレベルちゃいますけど。

…先輩がね、部活来おへんから、来年の、もうそろそろエントリーするんか、決めなあかんし、それで来たんですけど…。

女 …。

後輩 どうします？ 鳥人間。

女 …。

後輩 てか、話するにしても、これ…。取り敢えず要らんもん捨てましょつか。俺、片づけるの手伝いますし。

女 ありがとう！

後輩 …うん。(ボソ) うわ…。空気が何か、黄色いですやん…。ちよっと、目え痛い。

女 …。

背負っていたリュックを置いて床のゴミを漁る後輩。

後輩 うわ、何やこれ臭！

残飯。強い汚臭を放っている。

女 風上へ！

後輩 何がですか？ え？ 何ですか？ 「風上へ」って何ですか。大丈夫ですか？

女 …。

後輩 ああ、凄いなあ…。

床に落ちている食品を拾う後輩。しゃがんで床のきのこか何かをじっと見ている女。

後輩 …うわあ。これほら、これなんかほらもう腐ってますやん。

女 大丈夫。

後輩 え何が？

女 痺気は出していません。

後輩 …ん？ いや、何ですか？ 痺気って。何のことかわかんないですけど、ちょっと出てると思いますよ？

女 …。

後輩 …これせやけど、あんまり酷かったら近所の人に通報されることもありますよ？

あんまり考えてなさそうですけど。

女 私、古い言い伝えだとばかり思っていました。

後輩 そっか。(首をかしげる)…あの、片づけを。

ゴミを拾う後輩。片づけに参加しない女。

後輩 …こんなことしに来たんちゃうねんけどなあ。

後輩、ゴミの中からこんにやくを発見する。ぷらんぷらんしている。

後輩 …。

女 …。

後輩 こんにちはやく出てきたあ。

女 …。

後輩 わあ、めっちゃこんにやく落ちてますやん。ええ？ 何でこんなにこんにやくあるんですか？ 主食？

女 とっても栄養があるのよ。

後輩 ないです、ほとんど。これはええ？ 何で（こんなところに）――

女 うふふふふふ！

後輩

…。こんなん何で冷蔵庫に入れとかないんですか？ せやから腐るんやないですかあ。てかないですね冷蔵庫。ええ？ 何で冷蔵庫ないんですか？

女

あんなものにながって生きのびてなんになろう。

後輩の集めたゴミを後輩のリュックに詰め直す女。

後輩

いやあ、少なくともこの状態にはなっていないと思いますよ？ (女の行動に気つき)

何やってるんですか！ ……すいません、ちよ、トイレ借りていいですか。トイレ。

…こっち？

トイレに行こうとする後輩を引き留める女。

後輩

え？ 何？ トイレ…。

女

この先はおまえの世界ではないのよ！

後輩

何それどういうことですか？ 凄いいことになってるってことですか？ ええ？

もういいです。えっと、僕の貸した漫画とかも埋もれてるんちゃいます？

女 大丈夫。

後輩 そう？

女 みんな燃えたわ。

じつと女を見る後輩。

後輩 …ああ。何やってんですか？ マジで？

女 あら、私がウソついたことあった？

後輩 いやあ開き直られても困りますわ。

女 ね？

後輩 何が？ ええ？ もう、ちょっと何か信じられませんわ…。マジっすか。

ドン引きでちょっと後ずさり気味の後輩。

女 (ボソ) あなたは何を怯えているの。まるで迷子のキツネリスのように。

後輩 …ええ、どうしたんですかあ？ 先輩。

女

(ボソ) 怖がらないで。私はただあなたに、自分の国へ帰ってもらいたいだけ。

後輩

えっと僕、何じんすか。先輩こそ戻って来て下さいよ。ほんで、できたらもう少しおつきい声で喋って下さい。ちっちゃい声でぼそぼそ喋られると、悪いけどちよっと引いてまいりますから。

女

もう寝ましよう。明日…たくさん…飛ばな(きや)。

万年床に入る女。

後輩

うん、寝る前に片づけましょ？ ほんで、飛ぶとか意味わからんし。ねえ？ 起きて下さいよ？ ちよ。

起きる女。

後輩

ゴミ袋ありますか？

女

…。

後輩

ゴミ袋？

女 ごめんね。話すのが遅れて。

後輩 いや、そんな。…大袈裟な。…ま、じゃあ取り敢えず…。

取り敢えずゴミを拾い集める後輩。

後輩 おーっと、ゴキブリ！

女 …。

後輩 ゴキブリ！ ほらそこ！ 先輩？

後輩が示す方とは違う方の床にしゃがみ込み、ゴキブリホイホイを覗いている女。

後輩 何やってんすか？

女 虫たちがいない。なぜかしら。こんなに胸がドキドキする。

後輩 だから部屋中に逃げてるんすよ。ゴキブリホイホイから逃げ出さって、ちよっと

進化してるんちやいますか。あーほら、そこそこ！ そっち逃げた！

女 海岸に誘導する！

後輩 うん、いや、捕まえて下さいって！ ちょっと意味がわかりませんから。ほんで、

海岸とかないし。それほらティッシュで。

女 やってみる！

後輩 いやもう返事はええんですけど。

ゴミをゴミ袋に入れる後輩。

後輩 せやけど、こんな部屋汚くしてたらあきませんってホンマ。

女 ……あなたもクシャナと同じように言うのね。

後輩 誰ですかそれ。誰か知りませんけど誰でもそない言うと思いますよ？

女 静かに！ 怒らせては駄目！

後輩 すいません。取り敢えず、せめて床が見えるくらいに…。

女 おのれー！ へー！ (ゴキブリをつかまえている) へー！ へあ！ …へあ！ へえ

えー！ ぐあああ！ へえー！ ぐうう！ へー！ とあ！ ひえええええっ！

後輩 ……。(半笑いボソ) もう嫌や…。

ただじっと見ているだけしかできない後輩。女、捕まえたらしい。

女 ……私、自分が憎い。

後輩 ハア!?

女 憎しみにかられて、何をするかわからない。

後輩 だ、大丈夫ですから、次は落ち着いてちゃんとティッシュ使って捕まえましょつか。ほら、そんな握りしめたら…。ああ、そんなに捕まえて…。僕の部屋も汚いってよく言われますけど、ここに較べたら全然ましですよ。

女 (マスク) マスクをしなければ五分で肺が腐ってしまう死の森なのに…。

後輩 そんなことないですよ。それ、この部屋でしょ?

女 汚れているのは土なんです!

後輩 部屋です!

女 あなたは腐海を何もわかっていない。

後輩 そうですか? 不快ですよ? 何か、さっきから—

女 怒りに我を忘れている。鎮めなきゃ!

後輩 ……いや、別にそこまで思っていないですけど。ちょっとびっくりしたただけ。そう

いうのできたら口に出して言わずに心の中で処理してほしいんですけど。え？
そんなに怒ってる風に見えます？

女 おびえていたただけなんだよね、フフ。

後輩 …。僕、ここ片づけときますんで、コンビニで殺虫剤買って来てくれますか。あ
とマスクも。

女 私たち、マスクをしてない。

後輩 だから、買って来て下さい。

女 やってみる！

後輩 うんあの…。

女、部屋を出ようとする。

女 一時間して戻らなければ谷に帰りなさい！

女、部屋を出て行く。

後輩

あかんで！

先輩！

先輩！

手！

手！

ゴキブリ！

追いかける後輩。終わり。